

Tokyo DD Clinic 院長  
NPO法人薬害研究センター 理事長

内海 聡  
×  
坂の上 零

# グーミンと 日本病

病気になるばいい  
苦しめばいい  
死んでいけばいい

全ては知ろうとしない  
あなたの問題である！

ここは愚の果て  
雑魚の群れ



ヒカルランド

## 第I部

知って何もしない陰謀論者は同じくゲーミンであり、  
日本病の典型である！

第1章 この日本民族総皆殺し作戦の中であなたはいかに生きるか!?

20 「カス」か「ゲーミン」かいよいよ極まった「日本病」

30 『天使になった大統領』はこれからの世界の予言書として書かれている！

35 政治家はもはやショッピングされる商品にすぎないのです！

46 売春婦が買われるように政治家も金のあるものに魂を買われているのです

50 その本質は日本国民が、普通の人たちがグーミンであり、日本病だということなのです！

55 自分だけが幸せ、自分だけがお金持ち、似非スピリチュアルを語る奴隷たちよ！

## 第2章 グーミンは死んでも治らない！

**ワクチンの目的は支配者によるゾンビ家畜奴隷の製造と確保である！**

64 厚生労働省は「国民を殺しましましよう」、農林水産省は「国民に毒を盛りましましよう」に格上げになりました

67 ワクチンは知能低下ゾンビの製造用チップ混入の第一歩となる！

69 家庭採種で逮捕される!? 種の支配も猛スピードで展開中……

71 効かないし、関係ない！ ワクチンは危険だという以前に、効果がないのです！

74 製薬会社がもう100年も続けているワクチンビジネスのサイクル

76 ワクチンで人口削減はできていない！むしろ人間のゾンビ化機械化を疑え！

80 消極的優生学なのか!? ワクチン用剤の組み合わせはまるで毒薬の錬金術のよう……

### 第3章

その食べ物は何？ その治療は？

ニセモノかホンモノか、見抜くのはあなたの鑑識眼しかない！

人間はここまで残酷で愚かになったのか!? コンビニ食に思うこと……

『赤ちゃんはゾンビーズ』も執筆構想中

ここにもニセモノがいる!? 代替療法のクリニックから逃げてくる人々は多い

東洋医学にも詐欺師がいっぱいいる!? 西洋医学とどっちもどっちです！

### 第4章

もともと医療は歴史上

「人殺しのため」か「スケコマシのため」に生まれたものだった!?

TPPで保険制度はどう変わっていくのか!?

医者になる人の動機は「成績がいいから」か「親が医者だから」かただそれだけ……

下賤な職業である医者に目をつけ変貌させたのはロックフェラーだった！  
 国家は多国籍企業に逆らえない、だから大規模な国家的な詐欺がまかり通る！

## 第5章

**地球のがん細胞中のがん細胞、  
 クズの中のクズ、悪魔の手先、それが人間である！**

頭の悪い人、行いの悪い人が患者になる！  
 実は私は人間嫌いで、矛盾に満ち、屈折しているのです！

## 第6章

**この国で一番上にいるのはCIA、アメリカ、  
 多国籍企業群、だから植民地なんです！**

日本は病気だらけで違う民族に支配され、国ごと滅んでいく……  
 救いの道は新しいマネーと新しい金融の創造にある！！

## 第Ⅱ部

ウソだらけの世の中、ザコの群れだらけの地球で  
一体何を叫べばいいのか!?

### 第1章 ユースタス・マリンズの『医療殺戮』で目を開かれる!

- 168 「ロックフェラーのスカウトを待っているよ」とネットに書いてるけど全然来ないんですね(笑)
- 175 ユースタス・マリンズは日本に來ると私(坂の上)の家に泊まっていた
- 180 医者が変われないのはプライドが邪魔するから、だから医者の地位を落とせばいい!
- 187 「地域医療機能推進機構」で医者の地位を落とそうとしているのは、なんと安倍政権

## 第2章

介護施設は老人が、児童相談所は子どもが、  
病院は患者がそれぞれ固定資産！

196

児童相談所は児童虐待を防止してはいけないことになっている!?

## 第3章

絶望クラブ／

「人のために」とは奴隷が貴族に逆らわなくするための屁理屈だった!?

212

薬事法の認可は金次第、国民を守るためではない

216

アニミズムの原点に戻る

224

欲望からの提案…自給自足コミュニティと「5つの自立」

232

ついに自給自足コミュニティ第1号が…

238

ノアのはこぶねのコミュニティをつくる!!

坂の上零 人を不幸にしない皆の新しい社会をつくる！



知って何も知らない  
陰謀論者は  
同じくグーミンであり、  
日本病の  
典型である！

第I部



## 第1章

この日本民族  
総皆殺し作戦の中で  
あなたはいかに  
生きるか!?

「カス」か「グーミン」かいよいよ極まった「日本病」

坂の上 皆様、こんにちは。坂の上零です。「坂の上零の日本をよみがえらせるホンモノ発見シリーズ」第9回、各界の第一人者との対談で、本日のゲストは内海聡先生です。どうぞよろしくお願いいたします。

内海 お問い合わせします。

坂の上 この番組はいろんな分野にがっちりメスを入れてやってきましたが、きょうは内海先生だから、大体中身はわかると思います。もちろんそこにも入りますが、まず最初に、私が前々から思っていた疑問をぶつきたいと思います。私は『死に至る病い日本病』という本を書いて、結構いろいろな方に読んでいただいています。ここで「日本病」の定義を言う必要はないですが、「グーミン」と「日本病」はどう違う

のか。先生は、人のことをよく「ゲーミン、ゲーミン」とおっしゃっています。「そういう失礼なことを言うんじゃない」と怒られていらっしやるというお話も聞きました。が、頑として「ゲーミン」と言うのをやめないじゃないですか。

**内海** 最近に使わないですけどね。

**坂の上** でも、私は格好いいと思います。ずっと「ゲーミン」と言い続けてほしいです。

**内海** 僕は『巨悪の正体 あなたは、なぜカスなのか?』という本を書いたのですが、その中で「カス」という言葉をたくさん使っていて、それで「ゲーミン」を使う数が減ったような気がします。

**坂の上** 「ゲーミン」が「カス」になったわけですね。

**内海** 「カス」のほうが2語でわかりやすいし、響きだけでその話になったんですけど。ゲーミン自体は、そんなに難しい話ではありません。僕はフェイスブックでずっと情報を出してきたのですが、その中で、お遊びで何かキャラをつくらうみたいな話があった、「愚民」と「ムーミン」とを混ぜたというだけです。

坂の上 でも、グーミンの歌を歌いたくありません。グーミンってかわいいから。

内海 ちゃんとグーミンの歌があるんですよ。

坂の上 「ねえ、グーミン、こっち向いて♪」じゃないけど。グーミンの歌を歌っていただけませんか？

内海 それはちょっと歌えないけど。歌詞も覚えていないし。

坂の上 そうか。のってくれないなあ（笑）。

日本病の主たる定義とは、そこに今すぐ何とかしなければいけない問題があるのに、自己保身や臆病さのために、集団でそれを無視して、それがあたかも存在していないかのように振る舞って、物事の本質や語るべきところは巧妙に避けて、表面の上っ面のところをなぞるだけで「やったぞ」という自己満足に浸り、結局は何も解決されなまま問題はずっと残っていくことです。私は、今の日本は国ごと日本病にかかっていて、一般人も多くの人が日本病で、各省庁、永田町、霞が関を筆頭に日本病にかかっているという本を書いて、随分嫌われたんです。

私にもファンが結構いたんですけど、ガタンと減ってしまって、「おまえ何様だ」

とか「そんなことを言うな」とか「失礼だ」とかいろいろ言われました。安倍が悪い、誰が悪い、政治が悪いと言っている分には構わないのですが、矢が自分たちに向いてきて、「あなたたちだって同じじゃない？」と言われると、突然、「違います」という話になる。でも、やっぱりそういうところを避けて通れないというのがあって、大胆にも「日本病」という名前を勝手につけさせていただいたんです。

先生の言う「グーミン」というのは、どういう意味ですか。

**内海** そういう意味も入っているとは思いますが、表面的な意味、いわゆる狭義の意味と広義の意味とでちよつと違うと思います。

**坂の上** いろんなグーミンがいたわけですね。

**内海** 最初につくったときは、「物事のウソとか裏側を何も考えないし調べもしない人」というところから始まったとは思いますが。でも、もう少し考え方を広げれば、情報を知ったところで、別にグーミンとは無関係なんですよ。大体の人は、陰謀論でも何でもいいけど、情報を知ったら「俺、グーミンじゃないし」みたいなことばかり言っています。実際、それはグーミンであって、定義上は何も変わりはない。

坂の上 つまり、知ったけれども具体的に何もしないということですね。

内海 変化するための行動をして、それで結果が出ない限りは「グーミン」と言われてもしようがないというところはある。

先ほどの日本病の話でそうだなと思うのは、日本人は大体、安倍晋三なら安倍晋三でもいいのですが、誰か悪者をつくって、それを責めている陰謀論者がいて、それが正義の味方で、「俺たち、わかっているぜ」みたいな感じで言っています。実際には何も変わってなくて、政治も動いていない。その人たちは、安倍晋三と同じレベルか、それ以下です。そんな本を書いている人たちが、世の中で「みんな目覚めよ」みたいな感じで言っているけど、「おまえがまず目覚めたら」みたいな話ばかりです。それを「日本病」と言われたら、そうじゃないかという感じですよ。

坂の上 『死に至る病い 日本病』という本は、政治家と官僚すべてに向けて書いています。真の問題を直視し、何もしようとしない日本人に対して、書いています。問題の深刻さがわかっている人も中にはいるのですが、〇〇党に属しているからとか、〇〇省に属しているからとか、組織的に言っちゃいけないとか、自分の立場がどうと

かこうとか、いろんなことで今すぐやるべきことや語り合わなければならぬ議題を巧妙に避けて、結局、体制に従ってしまう。グーミンも日本病の人も、みんないい人なんです、最終的に戦う勇気がないというか、立ち上がる勇気がないというか、誰かがやってくれるだろうというところで、自分ではやらないんです。

**内海** ただ、後半の話にも通じてきますが、僕は政治家のほうがまだましだと思っています。陰謀論者でも市民でも市民活動している人たちでも、我々全部含んでそうですけど、その人たちのほうが全然ダメです。例えば、ツイッターでも何でもいいけど、政治批判とかをつぶやいている有名人は何人もいます。名前は言わないほうがいいと思うけど。そういう人たちは表に出てくるわけでもないのに、それをまた引用している人が世の中に何十万人もいるわけです。その人は政治家以下ですよ。酸いも甘いも噛み分けて、組織の中で、面倒くさいこと、やりたくてもできないことがある中で苦しんでいる人と、気楽な立場で外から「おまえたちはホント腐つとるな」と言っている人とどっちが偉いかと言われたら、私は中で苦しんでいる人のほうがまだ偉いと思うんです。



坂の上 苦しんでいたらいいと思いますが、実際、苦しんでいない政治家や官僚、企業勤務者も結構います。

内海 それは当然いるでしょうね。

坂の上 上辺しか見ない。本質を見る眼力と感性が育っていない。議論をしても、核心はつかない。上っ面の話しかしない。それを楽しそうにやっつけて。その行為や生き方自体が、コンフォートゾーンになってしまっている。「希望を熱く語る人たち」の大半が、そういう官僚や政治家、企業勤務者で溢あふれており、ホンモノが極めて少ないことを実体験で見えました。そして、そういうコンフォートゾーンのニセモノに集まる一般人の人たち。これも質が劣化している。一種の偽善者の集団に見えます。彼らは気がついていませんが、パフォーマンスやガス抜きなんです。そして、何にも変わらない。だって、自分の職場の組織内では、何にもしないで、言われたことをしているだけです。外で、定期的に上辺のテーマで議論ごっこして遊んでいるだけで、コンフォートゾーンにすることもわからず、「自分たちはこんなに頑張っている。俺たちはサムライだ」みたいな、大いなる勘違いがそこにはありました。

しかし、ましだと言われる官僚や政治家でさえ、このレベルから出ている人は滅多にいない。つまり、ホンモノがいないんです。

**内海** ロビイストの手先みたいなやつもいっぱいいるから、それはそれで問題です。でも、それもとを正せば、不正選挙とかはとりあえず横に置いておいて、そいつを選んでいる市民がいるわけです。〇〇後援会とか、バックアップしているやつもいっぱいいます。それは市民の問題ですよね。

**坂の上** 内海先生は、安倍政権のいろんな政策に対して文句を言わない保守の人たちをどう思いますか。

**内海** 僕は安倍晋三は最悪の総理大臣だと思っているから、それ以上でもそれ以下でもないんですけど。

**坂の上** 50年後、100年後に、もし日本という国がまだそれなりに存続していれば、おそらく史上最悪の総理大臣ということで残ると思います。

**内海** 僕は左翼のように思われているのですが、自分の頭の中は結構保守的だと思います。

坂の上 先生は保守的だと思います。

内海 どんな本でもいいんですけど、神道的なこととか保守主義的な考え方とか、もうちょっと広げると、昔の日本の言語とかカタカムナとか、そういうことを言っている人たちは、みんなウソつきの詐欺師だと思っているから、全く当てにしていません。その人たちは何の結果も残せていない。保守ってそういうものじゃない。知っている人たちはほんの一部で、その人の御託で集まって、それで何かをやっているみたいなノリになっているけど、言っていることは安倍晋三と同じで、結局は安倍を支援しているような形になっている。現実を見ないで夢物語を語っている。僕もよく陰謀論者の言われているのでしようけど、僕はそういう発想を持ちたくないし、そういう立場にはなりたくないと思います。

坂の上 私なりの理解では、グーミンとは、世界の真相や日本の現状などいろんなことを知っても、特に自分が変わったたり行動するでもなく、こうすべきだとか、ああだとかこうだと言う割には何もしない人。日本病とちよつと似ていますが。

内海 そういうところのほうが大きいです。

坂の上 自分は変わらない人ということですよ。

内海 情報を知っているからグーミンじゃないというのは、全く違います。だけど、それで自分はグーミンじゃないと思っっている人が多いんじゃないですか。

坂の上 日本人の今の問題はそこだと思っんです。「誰かがきつとやっってくれる。でも、私はやらない」というか。

内海 ネットで書いている人は大体そうですよね。

坂の上 私も今はフェイスブックを停止されている身ですから、何とも言えないんですけど（笑）。いろいろな人に書かれて……。そんな話はどうでもいいんです。そんなことは関係ないから言いませんけれども。

先生から見たら、今の日本人は大体がグーミンであり日本病だということですね。

内海 行動力がないですよ。

『天使になった大統領』は  
これからの世界の予言書として書かれている！

坂の上 ただ、一部頑張っている人たちはいます。その人たちは本当にずっと頑張ってきているんです。先生も知っていると思いますけど。その方々の消耗度がひどくて、私もその1人だったのですが、そこに絶望を感じます。

内海 僕も、とっくの昔にそうです。

坂の上 何のためにかかわってやってきたのかと。

内海 見ていて思うのは、影響力を行使して周囲に広げるための工夫とか考えとかがないということですよ。僕は「おくれてきた発信者」みたいなことを自分でもよく言っているし、実際に言われていると思いますけど、僕がこういう活動をし出したのは10年ぐらい前からで、まじめにやり出したのはフクシマ前後からだから、7年ぐらい前で

す。例えば、船瀬俊介さんは20年以上活動してきて、そこそこ有名になりましたが、結局はみんなからキワモノとして扱われています。

**坂の上** キワモノというか、変人みたいな扱いのされ方でしたね。

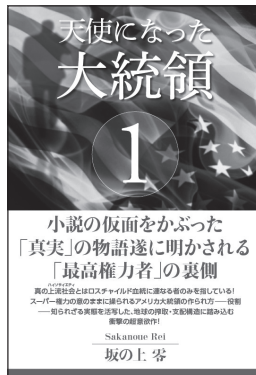
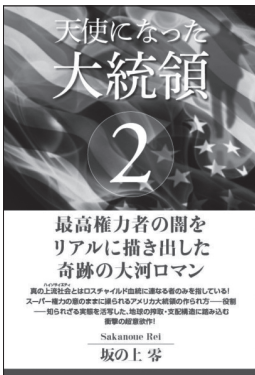
**内海** それ以上のところには何も広がらない。みんなに「目覚めよ」とか「真実が」とかそんなこと言っても、「こいつ、アホやん」みたいな感じで見られるに決まってるじゃないですか。

**坂の上** 私も最近はやつと信じてもらえるようになって、いろんなところで講演をさせてもらえるようになりましたが、以前は20年以上ぐらい前から、今語っているような真実を言っていたのに、金融の話だったこともあって、余り表立って言えなくて、コソコソ派だったんです。それでも言っただけです。25年も警鐘を鳴らしてきています。そのために『天使になった大統領』という全8巻の小説まで書きました。アメリカがどういう国か、アメリカ国民が一番知らないのも、アメリカ人に、自分たちのことを正しく知ってもらいたかったから。現世界の裏の本当の実相、ホワイトハウスの中の迷宮と、本当の世界の支配者たち、アメリカ大統領になっても、アメリカ

のために政治ができない現実と闇、なぜそうなっているのか等々が明確にストーリーとして、はらはらドキドキの面白いエンターテインメントとして書かれています。

『天使になった大統領』は、現在4巻まで出版されていますが、これから5巻〜8巻が出ます。主人公のニコルソンが世界中が注視する21世紀幕開きの祭典の中で、飛び降り自殺するわけですが、その途中で、時間の狭間にひっかかってしまい、空中に留まり続けるんです。そこから、宇宙をさまよい、魂の浄化に人類の存亡をかけて、主人公は、いよいよ古代ユダヤにタイムトリップします。5巻からは古代ユダヤやローマ、ギリシャがストーリーの舞台になりますが、これを読むだけで、ユダヤ人の世界観、歴史、思考、行動パターンまでわかるようになっていきます。

聖書とユダヤ人の世界観や思考、行動パターン



とものはつよし社の本

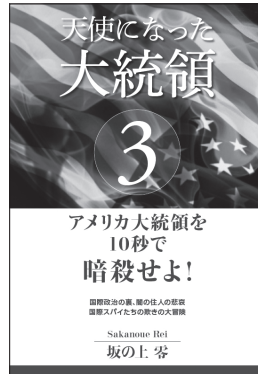
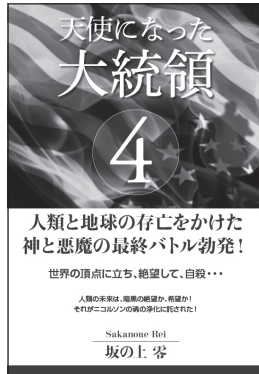
#### 第1部

知って何もしない陰謀論者は同じくグーミンであり、日本病の典型である！

がわからないと、今世界中で起きている政治や金融の本物の姿は見えてこないし、そこにある本質は一切理解できません。「彼ら」国際金融マフィアは、聖書を元にして行動しますから。

ですから、『天使になった大統領』は、あえて小説という形を取りましたが、古代ユダヤを舞台とした本格的な歴史大河小説であり、ハードボイルドな国際政治とスパイ小説であり、冒険小説であり、SF小説であり、恋愛小説でありつつ、これからの世界の予言書でもあったわけです。なぜか、あの小説に書いてあることは、すべて現実に起きました。ということは、これから起きることも予言されていますので、おそらくあの小説に書いてある通りに、世界は動きます。

そういうふうな小説やストーリーにしてしまうことで、もっと知ってもらおうとし



ともはつよし社の本

#### 第1章

この日本民族総皆殺し作戦の中であなたはいかに生きるか!?



たのですね。ただ、コソコソとやっていました。

「坂の上零」という名前も本名をもじって誰だかわからないようにカムフラージュしていました。

**内海** ペンネームで。

**坂の上** でも、世の中が余りにもおかしいから、ある時点から、何かに突き動かされるように、自分の本名や立場を隠しながらも、真実を告げる記事を書き始めたんです。あるとき、厚生年金基金のお金を、事もあるうに株式投資にぶち込むという話になりました。それが「まもる会」ができたきっかけです。もちろん日本の株式にも回っていましたが、多くがアメリカの株式で、それもアメリカの軍需産業の兵器会社の株式に日本の厚生年金の原資が行くようになった。その時点から我慢ならなくなってきた、ある日、仕事中に鉛筆をいきなりバキンと折っちゃって、何を思ったかすつくと立ち上がった。それで私、クビになったんです。

政治家はもはやショッピングされる商品にすぎないのです！

坂の上 そのときのこととは今でも覚えています。議員会館にいたのですが、議員さんのドアを叩いて、「こういうことでいいんでしょうか。日本の年金が目の前で盗まれています。どういう経緯で決まったんでしょうか」と言って回りました。議員さんが「安倍さんと菅官房長官がお話しして、いいんじゃないかということになって、それでシヤンシヤン会議をやった」と言うので、「その会議に誰が呼ばれていたのですか」と聞くと、野村證券やモルガン・スタンレーとかの名前をズラズラ並べていましたが、年金基金の担当者は誰ひとり呼ばれていなかったんです。それについては、厚生労働省はさすがに止めたらしいのですが、結局、安倍さんと菅さんのトップ2人が決めたことが、独裁国家のように何の審議もなく勝手に決まっていくなです。まあ少しは審